

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	臍帯血中抗インフルエンザ、RS、アデノウイルス IgG 抗体価の新型コロナウイルス感染症流行前後の変化に関する研究	
1. 研究の目的と方法	東京慈恵会医科大学附属病院で出産した妊婦さんの臍帯血を用いて、母親から胎盤を介して胎児に移行する IgG 抗体（体内にウイルスなどの異物が侵入した際に体が反応して産生する免疫グロブリンというタンパク質の一つ）量が COVID-19 流行前後で変化したのかを調査することを目的としています。臍帯血中のインフルエンザ A ウイルス、RS ウイルス、アデノウイルスの各 IgG 抗体量を測定し、COVID-19 流行前後で量が変化したのかを比較します。	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2024 年 12 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	「母体の加工肉等摂取除去（生後 1 ヶ月まで）による児の食物アレルギー発症予防ランダム化比較試験」の参加者で 2019 年 2 月 4 日～2021 年 12 月 31 日までに出産した方。「血中 soluble PD-L1 等レベルの多寡が妊娠高血圧症候群及び妊娠合併症発症を予防し得るかを明らかにするための研究」の参加者で 2022 年 1 月 1 日～2022 年 8 月 31 日までに出産かつ 36 週以降に出産した方。	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	臍帯血血漿
	(2) 試料の取得の方法	上記の研究参加時に採取した臍帯血の残りを使用させていただきます。この臍帯血を使用して、臍帯血中のインフルエンザ A ウイルス、RS ウイルス、アデノウイルスの各 IgG 抗体量を測定します。
	(3) 情報の種類	年齢、BMI（体重と身長から算出される肥満度）、基礎疾患、産科既往歴、内服薬、アレルギー、妊娠様式、妊娠分娩歴、喫煙歴、飲酒歴、国籍、最終学歴、妊娠経過及び分娩転機、児の情報（出生日時、性別、出生体重・身長・腹囲・頭囲、アプガースコア（出生直後の赤ちゃんの元気具合を評価するスコア）、臍帯動脈血 pH 値、新生児合併症（低血糖、感染症、新生児仮死など）、2 歳までの感染症罹患歴）
	(4) 情報の取得の方法	過去の先行研究（「母体の加工肉等摂取除去（生後 1 ヶ月まで）による児の食物アレルギー発症予防ランダム化比較試験」と「血中 soluble PD-L1 等レベルの多寡が妊娠高血圧症候群及び妊娠合併症発症を予防し得るかを明らかにするための研究」）で取得されたデータを二次利用します。
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。	

	(1) 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 分子疫学研究部
		氏名	小笠原 律子
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 試料・情報 の管理責任 者	東京慈恵会医科大学 分子疫学研究部 和田悠	
	(4) 共同で研究 を実施する 機関とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについ て	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始日：2022年9月14日～		
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 分子疫学研究部 研究責任者：大学院生 小笠原 律子（おがさわら りつこ） 電話番号：03-3433-1111（内線 2405） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00		

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。